

「令和元年(2019年)木材需給表」の公表について ～木材自給率は9年連続で上昇～

林野庁は9月30日に、我が国の木材需給の状況を明らかにする「令和元年(2019年)木材需給表」を公表しました。令和元年(2019年)の木材の総需要量は、8,191万 m^3 (丸太換算。以下同じ。)で前年に比べ0.7%減少(4年ぶり)しました。

国内生産量は3,099万 m^3 で前年に比べ2.6%増加(10年連続増加)し、輸入量は5,092万 m^3 で前年に比べ2.6%減少しました。

令和元年(2019年)の製材、合板等の用材の自給率は前年から1.0ポイント上昇して33.4%となり、用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、前年に比べて1.2ポイント上昇し、37.8%となりました。用材、総量ともに自給率は、平成23年から9年連続で上昇しています。

より詳しい「木材需給表」の内容は下記のURLから御覧になれます。

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html



木材供給量及び木材自給率の推移

